

活動主題 「働き方の多様化の意義を探り、将来の自分の働き方を考える」

活動の価値

近年長時間労働に伴う過労死や、残業したとしても残業代が支払われないサービス残業、少子高齢化に伴う労働者の減少など、多方面にわたり引き起こされる労働環境全般の問題が表面化している。このような労働に関する諸問題を解消するために、2019年より働き方改革関連法案が成立し、政策が進められている。企業によってはフレックスタイムや変形労働時間制の導入、さらに副業（兼業）の許可をしているところもある。このように近年、働き方の多様化をすすめる動きが見られるようになった。いつでも誰でも働けるようになった結果、労働者の確保など成果はみられるが、非正規雇用者の福祉や管理職へのしわ寄せ、労働者の働きがいの低下などの課題も見られる。そのような社会の中で、家庭や賃金、働きがいの視点から自分はどうな働き方をすればいいか、将来にわたり考えていく必要がある。

本活動は、働き方の多様化の意義を探り、将来の自分の働き方を考える活動である。この活動を通して子どもは、過去と現在の働き方を比較することで、現代社会における柔軟な働き方の内容を理解することができる。また、働き方の多様化が進んだ要因を調べ、効果と課題を考えることで、働き方の多様化がもたらす影響を、福祉、税制の視点に着目して考察し、働き方の多様化に対する自分の考えをもつことができる。さらに、将来の自分の働き方を考えることで、自分自身の今後の学びや人生に活かすことができる。したがって、働き方の多様化を基に、自己の労働観と労働環境のあり方、自分の生活に関連づけて将来の自分の働き方を考えることで、よりよい社会の構築に向けて現代社会の見方・考え方を働かせることができるため大変意義深い。

子どもの実態

本学級の子ども（〇名）に対して事前に行ったアンケート調査によると、日本の労働環境の問題点は何か問うと、休まない（〇名）、長い時間働く（〇名）、育児休暇は女性が多く取る（男性は取らない）（〇名）などと答えた。仕事と生活を調和するために必要なことは何か問うと、労働者を増やす（〇名）、機械化を進める（〇名）、働き方改革を進める（〇名）、生活を行うための賃金を上げる（〇名）という回答だった。なぜ上記のようなことが起こっているのか理由を問うと、ブラック企業や過労死という問題が起きたから（〇名）、法律が変わったから（〇名）などと答えがあった。その効果や影響に関して問うと、労働時間が減る（〇人）、早く帰れるようになる（〇人）という回答だった。

以上のことから、子どもは日本の労働環境に課題が見られるということ、特に長時間労働や休暇取得において課題が見られることを理解していることがわかる。また、近年働き方改革や労働時間の短縮など、働き方の多様化が進んでいるという理解であることもわかった。しかし、なぜ働き方の多様化が進んでいるのか、その効果や影響はどんなものがあるかといった記述が少なく、特に労働時間に関する記述内容が多いということが分かった。

活動の援助観

そこで本活動では、働き方の多様化が広がった社会を考察するための活動の見通しをもち、働き方の多様化がもたらす影響を、福祉、税制の視点に着目して考察し、課題に対する自分の仮説を更新するとともに、自分自身の今後の学びや人生に活かすことができるようにすることをねらいとする。そのために、次のような援助を行う。

- ・現代の社会における柔軟な働き方の内容を知ることができるように、過去と現在の働き方を調べる場を設ける。
- ・本活動の見通しをもつことができるように、仮説や資料の検討など活動計画を定める場を設ける。
- ・働き方の多様化がもたらす影響を、福祉、税制の視点に着目して考察できるように、働き方の多様化が進んだ要因を調べ、効果と課題を考える場を設ける。
- ・課題に対する自分の仮説を更新できるように、働き方の多様化がもたらす社会について話し合い、考えをまとめる場を設ける。
- ・自他の考えを批判的に検討できるように、働きがいの推移や企業の事例を提示する。
- ・活動での学びを、自分自身の今後の学びや人生に活かすことができるように、発展課題を設定し、将来の自分の働き方を考える場を設ける。

○子どもの学習目標

働き方の多様化を基に、将来の自分の働き方を考えることができる。

○教師の援助目標

働き方の多様化が広がった社会を考察するための活動の見通しをもち、働き方の多様化がもたらす影響を、福祉、税制の視点に着目して考察し、課題に対する自分の仮説を更新するとともに、自分自身の今後の学びや人生に活かすことができるようにする。

活動計画（5時間＋α）

次	時	学習活動・内容	子どもの問いと思考	援助の「ねらい」・内容・方法
一	1 ①	1 社会における労働の動向より、本活動の学習課題を設定する。 (1) 社会における労働の動向を調べる。 ・産後パパ育休 ・働き方改革 ・勤務形態、社会の変化 学習課題 なぜ昔と比べ、柔軟な働き方が広がったのか考えよう (2) 活動の計画を定める。 ・仮説、必要な資料の検討	なぜ、昔よりも働き方が柔軟になったのかな。 ↓ いろいろな働き方が出てきたけど、どんな効果もたらされるか、これから調べていきたい。	働き方の多様化が広がった社会を考察するための活動の見通しをもつことができるようにする。 ・現代の柔軟な働き方の内容を知ることができるように、労働の動向を調べ、課題を設定する場を設ける。 ・本活動の見通しをもつことができるように、仮説や資料の検討など、活動の計画を定める場を設ける。
	1 ②	2 様々な視点から働き方の多様化の具体を調べる。 (1) 働き方の多様化が進んだ要因を調べる。 ・労働三法の改正、労働組合 ・テレワークの普及 (2) 働き方の多様化がもたらす効果と課題を考える。 ・幅広い層の労働者の確保 ・仕事と育児、介護の両立 ・福祉や賃金の格差 ・事務職、管理職の負担増	働き方の多様化はどんな影響をもたらしているのかな。 ↓ 私たちの生活や家庭に合った働き方が保障されていることが分かった。でも、いいことばかりではなさそうだな。	働き方の多様化がもたらす影響を、福祉、税制の視点に着目して考察し、課題に対する自分の仮説を更新することができるようにする。 ・働き方の多様化がもたらす影響を、福祉、税制の視点に着目して考察できるように、働き方の多様化が進んだ要因を調べ、効果と課題を考える場を設ける。
本時 (1/1)	2 ①	3 働き方の多様性に関する自他の考えを議論する。 (1) 働き方の多様化がもたらす影響について話し合い、自分の考えをまとめる。 ・社会や個人への影響 ・非正規雇用の拡大が懸念 ・生活、働きがいにあった働き方	この働き方で私たちは幸せになれるのかな。 ↓ どの働き方をするかで生活に大きく影響するな。どんな働き方がいいか、考えていきたい。	・課題に対する自分の仮説を更新できるように、働き方の多様化がもたらす社会について話し合い、考えをまとめる場を設ける。 ・自他の考えを批判的に検討できるように、働きがいの推移や企業の事例を提示する。
	1 ① + α	4 本活動における自分の考えをまとめる。 (1) 発展課題を設定し、将来の自分の働き方についてのレポートを作成する。 発展課題：将来の自分の働き方をプランニングしよう。 ・将来の自分の働き方 ・就職するまでに行うこと	自分は将来、どんな働き方がいいだろう。 ↓ 就職や結婚、出産などで働き方が変わりそう。働き方を選ぶのは自分だから、これからも考えていきたい。	活動での学びを、自分自身の今後の学びや人生に活かすことができるようにする。 ・活動での学びを、自分自身の今後の学びや人生に活かすことができるように、発展課題を設定し、将来の自分の働き方を考える場を設ける。

本時 公開授業2 第3学年〇組教室 第二次の2時(1/1)

本時の援助観

前時までに子どもは、働き方の多様化が進んだ要因を調べ、多様化がもたらす社会への影響を考察する活動を行っている。そこで本時は、働き方の多様化に対する考えを広げ、働き方の多様化が進んでいることに対する価値観を更新することができるようにすることをねらう。そのために、まず、本時学習への見通しをもつことができるように、働き方の多様化についての学習内容を確認する場を設ける。次に、働き方の多様化に対する考えを広げることができるように、働き方の多様化の影響について、思考ツールを活用して考え、議論する場を設ける。さらに、働き方の多様化を別視点から考察することができるように、働きがいの推移を表した資料や、早朝出勤により出生率が上がった企業の事例を提示する。最後に、働き方の多様化が進んでいることに対する価値観を更新することができるように、本学習を基に、自分の働き方について考え、本時の振り返りを行う場を設ける。

主眼

働き方の多様化に対する考えを広げ、働き方の多様化が進んでいることに対する価値観を更新することができるようにする。

本時の過程

学習活動・内容	援助のねらい・内容・方法	形態	配時
<p>1 本時の学習の方向性を確認する。</p> <p>(1) 働き方の多様化についての学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の働き方との変化 ・フレックスタイム制、変形労働制 ・非正規雇用の拡大 ・同一労働同一賃金 <p>(2) めあてを確認する。</p> <p>めあて：働き方の多様化がわたしたちの生活に与える影響を考えよう</p>	<p>本時学習への見通しをもつことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時学習への見通しをもつことができるように、働き方の多様化についての学習内容を確認する場を設ける。 ・本時の方向性を定めることができるように、めあてを確認する場を設ける。 	一斉	7
<p>2 働き方の多様化がもたらす社会について考える。</p> <p>(1) 働き方の多様化の影響について考え、議論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業や経済など社会への影響の大小 ・労働者や家庭など個人への影響の大小 ・それに対する自分の立場、考え <p>(2) 事例を基に、働き方の多様化の影響について再度考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きがいの推移 ・早朝出勤により出生率が上がった企業 ・自分の働き方や生活への影響 	<p>働き方の多様化に対する考えを広げることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方の多様化に対する考えを広げることができるように、働き方の多様化の影響について、思考ツールを活用して考え、議論する場を設ける。 ・働き方の多様化を別視点から考察することができるように、働きがいの推移を表した資料や、早朝出勤により出生率が上がった企業の事例を提示する。 	小集団 — 学級集団 — 個	33
<p>3 本時学習の振り返りを行う。</p> <p>(1) 本学習を基に、自分の働き方について考え、仮説を吟味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職や結婚、育児を考慮した働き方 ・企業や経済、社会への影響 ・今の自分にできること ・働き方の多様化が進んでいる理由に対する仮説の吟味 	<p>働き方の多様化が進んでいることに対する価値観を更新することができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方の多様化が進んでいることに対する価値観を更新することができるように、本学習を基に、自分の働き方について考え、仮説を吟味する場を設ける。 	個 — 一斉	10

活動の評価

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・労働三法や労働組合の働きを調べ、働き方の多様化が進んだことを理解することができる。 ・効率と公正に着目し、働き方の多様化が進んだことで発生する効果と課題をまとめることができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における働き方の多様化が進んでいることに関する課題について、見通しをもち、仮説を設定することができる。 ・小集団や学級で交流したことを基に、働き方の多様化に関する学習課題への自分の考えをつくることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方の多様化の活動を基に、将来の自分の働き方について考え続けようとするすることができる。

知：知識・技能

思：思考・判断・表現

態：主体的に学習に取り組む態度

次	時	学習活動	評価規準（観点：方法）	指導の個別化
一	1 ①	<p>1 社会における労働の動向より、本活動の学習課題を設定する。</p> <p>(1) 社会における労働の動向を調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習課題 なぜ昔と比べ、柔軟な働き方が広がったのか考えよう</p> </div> <p>(2) 活動の計画を定める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における働き方の多様化が進んでいることに関する課題について、見通しをもち、仮説を設定することができる。 <p>（思：学習プリント）</p>	<p>働き方の多様化に関する課題を追究できるように、学習課題に対して、調べる項目、内容、方法などを問う。</p>
二	1 ②	<p>2 様々な視点から働き方の多様化の具体を調べる。</p> <p>(1) 働き方の多様化が進んだ要因を調べる。</p> <p>(2) 働き方の多様化がもたらす効果と課題を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・労働三法や労働組合の働きを調べ、働き方の多様化が進んだことを理解することができる。 <p>（知：学習プリント）</p>	<p>従来型の年功序列と終身雇用などの制度と比較すると共に、労働基準法の改正箇所に着目するように促す。</p>
	2 ①	<p>3 働き方の多様性に関する自他の考えを議論する。</p> <p>(1) 働き方の多様化がもたらす影響について話し合い、自分の考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・効率と公正に着目し、働き方の多様化が進んだことで発生する効果と課題をまとめることができる。 ・小集団や学級で交流したことを基に、働き方の多様化に関する学習課題への自分の考えをつくることができる。 <p>（知：学習プリント） （思：学習プリント）</p>	<p>労働時間の形態や賃金の制度、福利厚生などの視点ごとに調べ、表でまとめるように問う。</p> <p>他者の考えを参考にできるように、自分になかった意見は何か、その意見は自分の考えとどう違うのか、比較するように促す。</p>
三	1 ① + α	<p>4 本活動における自分の考えをまとめる。</p> <p>(1) 発展課題を設定し、将来の自分の働き方についてのレポートを作成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>発展課題：将来の自分の働き方をプランニングしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方の多様化の活動を基に、将来の自分の働き方について考え続けようとするすることができる。 <p>（態：学習プリント）</p>	<p>学習してきた労働環境の改善策や内容について、将来自分たちが働くときにどうするかを個別に問う。</p>